

2007 年度の賃金改定が決着しました。

2007 年度の賃金改定について、12 月 18 日(火)の団体交渉において労組と機構は仮受結し、翌 19 日の中央委員会にて正式に承認されました。改定の内容は必ずしも満足のいくものとは言えませんが、数年ぶりのベースアップであり、特に若年層に上積みする内容であったことから、労組としてこれを受け入れることとしました。改定は 2007 年 4 月に遡って実施するものであり、差額は 2008 年 1 月の月給に合わせて支給されます。

賃金改定の協定を結ぶに当たり、またも団交直前になって機構から重大な通知がされました。従来賃金改定の協定書には有効期限がありませんでしたが、この場合労使の交渉が長引いて機構が一方支給する場合に、90 日前に協定破棄の通告をする必要があります。今後「厳しい状況」のもとで賃金改定の交渉を行っていく必要が出てくると予想される中で、機構は 9 月 30 日を協定書の有効期限としたいと言ってきました(協定破棄の手続きをしなくてすむようにでしょうか?)。労組としては、9 月 30 日では交渉がまとまらないまま期限が切れてしまう可能性があり、無協定の状態で賃金が一方支給されるのは望ましくないことから、有効期限の日付を明記しない提案をしましたが、機構はあくまで「9 月 30 日期限」を譲りませんでした。労組としては、賃金改定の協定自体を結ばないのは望ましくないと考え、渋々ながら「9 月 30 日期限」を受け入れた上で、賃金改定を受結するという判断をしました。団交の席上、「協定の期限が切れたとしても機構が一方的に賃金を改定するようなことはせず、当然労組と協議する」ことを労組から改めて問いかけ、理事以下機構側のメンバー一同がうなずくのを確認しました。

今年度の賃金改定の内容は以下の通りです。

本給表は、1 級は 51 号まで、2 級は 40 号まで、3 級は 19 号までを改定する。
(25 万円付近、改定額は最大 2,100 円)
大卒初任給は 192,100 円で 2 級 6 号の枠外、高卒初任給は 154,700 円で 1 級 1 号。
扶養手当については、子等に係る手当の月額を各 1 人につき 6,000 円から 6,500 円とする。
改定の実施時期は、2007 年 4 月 1 日からとする。
差額は 2008 年 1 月 18 日に支給する。

~ 団交のやりとりから ~

機構 > 新聞で独法改革、整理合理化の報道がなされている。当面原子力機構が対象になっているわけではないが、まだ予断を許さないところがある。法人そのものに加えて、給与、福利厚生まで幅広く討議されている。随意契約を少なくして、コスト削減し、税負担を少なくする。寮や社宅も原点に立ち返って検討となっている。メリハリをつけて対応しているが、給与も含め全般的に対応を求められるのではないかと考えている。労組とも意見交換しながら進めていきたい。

労組 > 「意見交換」という言い方はやめて欲しい。労使の協議である。

労組 > 他法人では組織にかかわる話が出ているが、原子力機構は行政改革関連の 5 つの委員会のどれにも呼ばれていない。農林関係は突然大統合が出てきた。給与見直しについては国家公務員より著しく高いところが対象と言われてきたが、「著しく」のレベルが低くなってきているように聞いている。過去 10 年間、増えることは無く、減り続けている中でただ経営が職員にがんばれと言っても限界がある。処遇が悪くならないよう相当な努力、改善の努力を求めたい。資産を売却せよというような話はあるのか。

機構 > どこという訳ではないが使われていないような宿舍、空き地など有効活用を示すように言われている。売却か再利用が決めるように言われている。特に老朽化した宿舍、入居率の低い住宅をどうするか決めなさいと言われている。

労組 > 住宅は古くて狭いから入らないということもある。単に入居率が低いだけで考えてよいのか。研究者は全国公募で来ている。住宅環境もそれほど自由に選べるわけではない。職場としての魅力、働きやすい職場にしていくという観点で検討の段階で十分考えてもらいたい。

住宅の二重貸与も、解除された時狭くて古い住宅でなく戻って入る住宅はあるのかという心配もある。今やろうとしている住宅二重貸与の方針では、遠隔地への異動をためらう人も出るだろう。給料が上がらない中で機構として何ができるのか、職員が働き甲斐のあるように考えて欲しい。われわれは二重貸与問題の機構の対応はぜんぜん納得できない。J-PARC ができ、外部の人も増えてくるし、アピールできるし、現実に準備も進めてもらいたい。

2008 年原研労組旗開きのお知らせ

~ 20 年・30 年永年組合員の表彰を行います。 ~

とき：2008 年 1 月 16 日(水) 18:30 より

ところ：未定(原科研内を予定・次号でお知らせします)